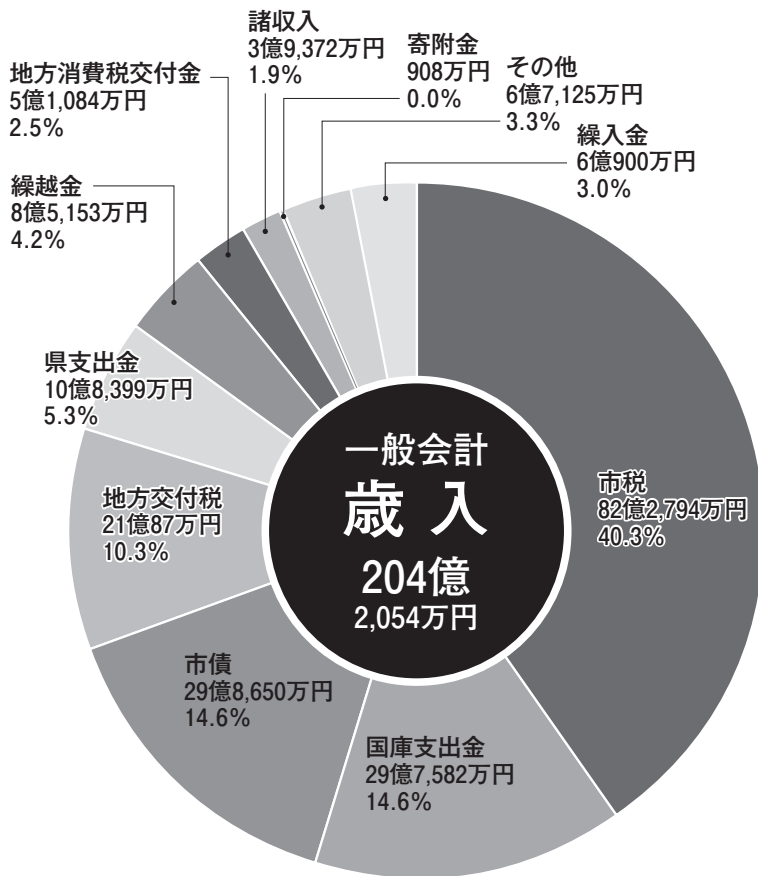


歳入



一般会計歳入の状況

市税	市民税減税の実施などにより前年度と比べて4億8,125万円の減少となりました。
国・県支出金	国庫支出金は、前年度と比べて8億5,728万円の減少となり、県支出金は、前年度と比べて1億629万円の減少となりました。
市債	教育債、臨時財政対策債の増加により、前年度と比べて2億7,930万円の増加となりました。
地方交付税	普通交付税が増加したことにより、前年度と比べて1億7,330万円の増加となりました。
繰越金	前年度と比べて3,690万円減少しました。
繰入金	減税基金から3億7,031万円と庁舎建設基金から1億1,432万円の繰り入れがありました。

平成23年度

北本市決算状況

市民税の減税や新東保育所整備を実施、東日本大震災後の関連経費も支出

平成23年度は、東日本大震災による打撃や欧州を中心とした世界経済の減速、雇用情勢の悪化などにより、行政を取り巻く環境は大変厳しい状況にありました。こうした中、貴重な財源の確保と市民ニーズへの的確な配分に努めて実施した施策の成果について、皆さんにお知らせします。

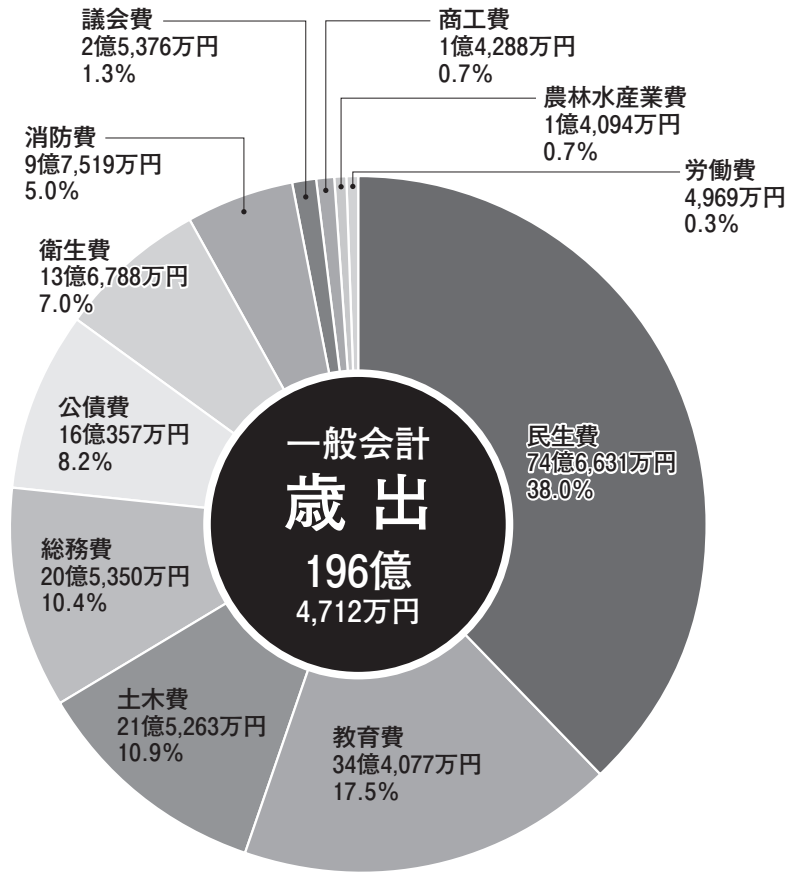
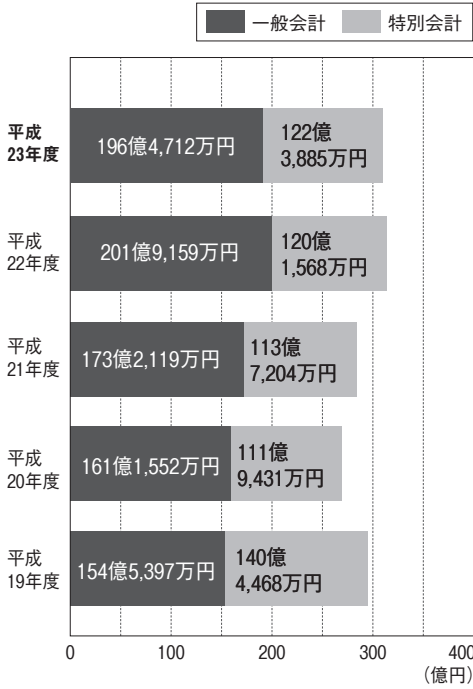
決算の歳入総額は204億2,054万円、歳出総額は196億4,712万円で、歳入歳出ともに前年度と比べて約3%の減少となりました。よって歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源9,421万円を差し引いた結果、6億7,921万円の黒字となりました。

歳入では、市税は市民税減税による減収を補う基金繰入金を差し引いても1億1,094万円(△1.3%)の減収となり、国庫支出金も8億5,728万円(△22.4%)減少しました。

歳出では、減税基金への積立金3億7,031万円の減少や、小学校の耐震補強等工事が進捗したことによる教育費の6億5,907万円(△16.1%)の減少などにより、事業規模がやや縮小しました。問合せ 財政課財政担当(☎5512)

歳出

全会計の歳出決算額の推移

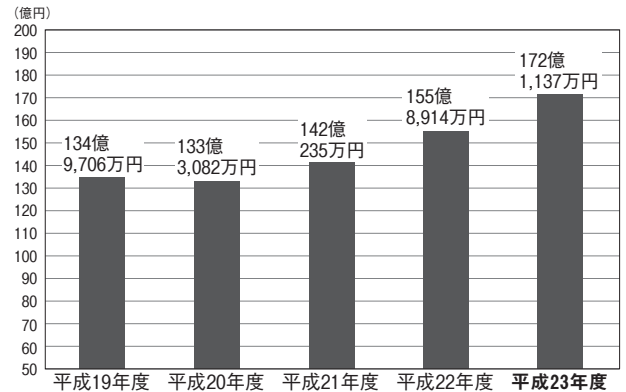


特別会計の決算状況

特別会計は、特定の事業をより円滑に進めるために、一般会計と分離して収支経理を行うものです。

会計名	歳入	歳出
後期高齢者医療	5億21万円	4億8,363万円
久保特定土地区画整理事業	4億1,399万円	3億9,089万円
公共下水道事業	12億9,952万円	12億5,711万円
国民健康保険	76億5,923万円	72億1,238万円
介護保険	29億2,020万円	28億9,438万円
埼玉県央広域公平委員会	63万円	46万円

一般会計市債残高の推移



用語解説

歳入

- ▼市税：市に納めていただいた税金
- ▼国・県支出金：国や県から支出されたお金
- ▼市債：国や金融機関から借入れたお金
- ▼地方交付税：国が徴収した税金の中から、各市町村に交付されたお金
- ▼繰越金：平成22年度から繰り越されたお金
- ▼繰入金：特別会計および基金から一般会計へ繰り入れたお金

歳出

- ▼民生費：障がい者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのための経費
- ▼教育費：学校教育や生涯学習の充実、スポーツ等の振興のための経費
- ▼土木費：道路、橋、河川、公園の整備、維持管理などまちづくりのための経費
- ▼総務費：各種計画の策定推進や徴税、選挙、財務事務などのための経費
- ▼公債費：借入れたお金を返すための経費
- ▼衛生費：保健・医療・環境など健康で衛生的な生活を送るための経費
- ▼消防費：消防・防災活動など市民の安全を守るための経費
- ▼議会費：議会を運営するための経費
- ▼商工費：商工業や観光の振興のための経費
- ▼農林水産業費：農業振興や農地の整備のための経費
- ▼労働費：勤労者支援などのための経費

平成23年度一般会計歳出(主要事業)

税金はこのような形で

役立っています

民生費

子ども手当の支給に12億3,553万円を支出したほか、多様なニーズに対応した保育環境を充実させるため、新東保育所や子育て支援センターの整備に4億1,831万円を支出しました。

教育費

児童生徒の安全・安心な教育環境を確保するため、小学校校舎の耐震補強・大規模改修工事に6億2,754万円、中学校校舎および屋内運動場の耐震補強・大規模改修工事に7億4,208万円を支出しました。そのほか、社会教育施設の充実のため中央公民館プラネタリウムのリニューアルに1,038万円を支出しました。

土木費

豊かな住環境の形成と緑地の保全を図るため、北本駅西口駅前広場改修工事に2億8,847万円を支出したほか、北本中央緑地や高尾さくら公園駐車場等の用地取得に1億5,012万円、北本総合公園などの都市公園の遊具や園路、トイレの改修に4,457万円、平成26年度に開通予定の圏央道北本市区間の掘割上部利用のための事業に1,504万円を支出しました。

総務費

平成26年度の完成に向け庁舎建設事業に1億2,352万円を支出したほか、4年に1度実施される北本市議会議員一般選挙および北本市長選挙に4,247万円、デマンドバスの運行に2,048万円、市制施行40周年記念式典に190万円を支出しました。

公債費

支払額は16億377万円で、借入金増加に伴い、前年度の支払額より31%、4,804万円の増加となりました。

衛生費

保険・医療の充実を図るため各種予防接種事業に1億6,642万円支出しました。また、太陽光発電システム設置費の補助に390万円、三国コカ・コーラボトリング北本みずべひろばの駐車場整備に953万円を支出しました。

消防費

東日本大震災の経験を踏まえ、防災行政無線の調査・整備に4,473万円を支出したほか、老朽化が進んでいた第4分団機械器具

置場の建て替えに2,552万円、東日本大震災関連の対応経費に514万円を支出しました。

商工費

商業の振興を図るため、北本市内共通プレミアム付き商品券の発行に937万円を支出しました。また、市制施行40周年の記念事業として開催した「埼玉B級ご当地グルメ王決定戦 in きたもと」に1,020万円を支出しました。

農林水産業費

農業生産環境の向上を図るため、市内西部地域の道路整備に1,561万円を支出しました。

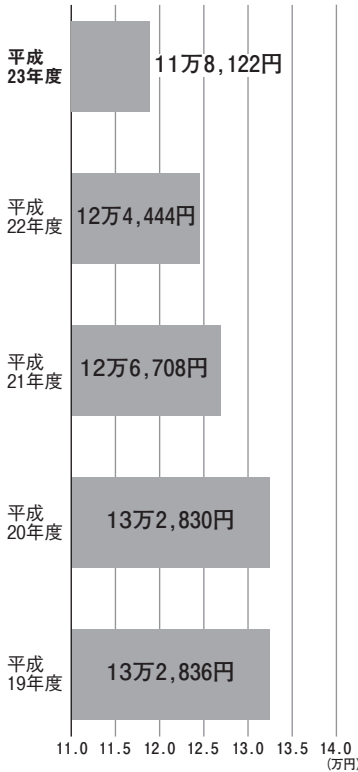


新東保育所



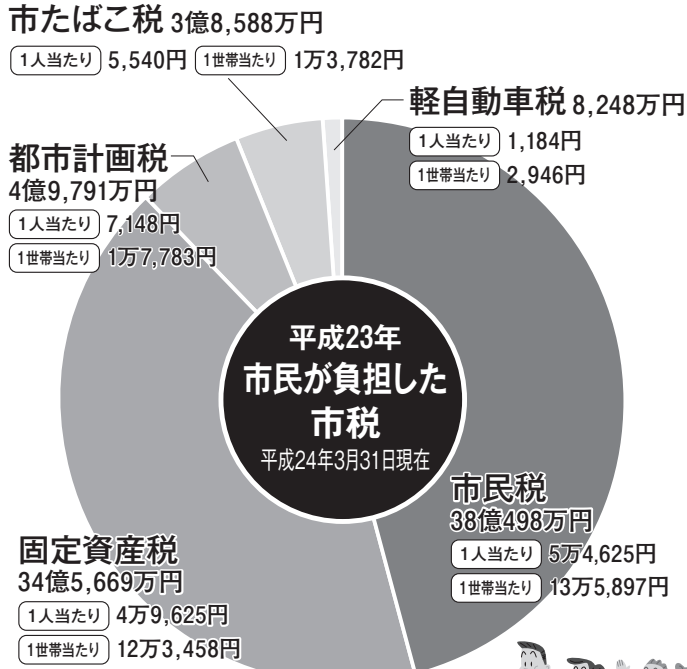
埼玉B級ご当地グルメ王決定戦 in きたもと

1人当たりの市税負担額(決算額)の推移



※市民1人当たりの額は各年度の決算額(万円)を各年度末の人口で割り求めた額です。

1世帯当たり **293,865円** (世帯数: 27,999世帯) 1人当たり **118,122円** (人口: 69,656人)



私たちは
いくら税金を払っているの？

健全化判断比率

算定年度	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成23年度	— (13.07%)	— (18.07%)	7.6% (25.0%)	16.9% (350.0%)
平成22年度	— (13.07%)	— (18.07%)	8.4% (25.0%)	21.3% (350.0%)

※括弧内は早期健全化基準です。

実質赤字比率…一般会計等の収支が、黒字だったのか・赤字だったのかを判断する指標です。北本市は黒字のため「—」で表示しています。

連結実質赤字比率…全ての会計を合算して、市全体としての収支が、黒字だったのか・赤字だったのかを判断する指標です。北本市は黒字のため「—」で表示しています。

実質公債費比率…市の借入金に係る年間返済額が、市の平均的な年間収入に対してどの程度の割合なのかを表す指標です。平成21年度から平成23年度までの3カ年の平均値を表示しています。

将来負担比率…市が将来的に負担しなければならない負債が、市の平均的な年間収入に対してどの程度の割合なのかを表す指標です。

資金不足比率

公営企業(北本市は公共下水道事業特別会計が該当します。)の資金不足額が、事業規模に対してどの程度の割合なのかを表す指標です。北本市は資金不足額がないため「—」で表示しています。

特別会計の名称	資金不足比率(%)	経営健全化基準(%)
北本市公共下水道事業特別会計	—	20.0%

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、市の財政状況と公営企業の経営状況を判断するために算定した、平成23年度決算に基づく市の健全化判断比率および資金不足比率は左表のとおりです。

算定した各比率については、い
5512)
問合せ 財政課財政担当(☎594-
「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、市の財政状況と公営企業の経営状況を判断するために算定した、平成23年度決算に基づく市の健全化判断比率および資金不足比率は左表のとおりです。いずれも早期健全化基準および経営健全化基準を下回っており、財政の健全性が確保できています。良好な状況ではありますが、市ではこの結果に安心することなく、今後一層の財政の健全化に努めます。

平成23年度
財政の健全化判断比率等を公表します